

古墳時代のムラの鏡

住居の鏡・水辺の鏡

古墳時代の鏡には、古墳から出土したものと住居や水辺などの集落関連遺構から出土するものがあり、神奈川や東京では後者の出土例の方が多くみられます。それらはただその場で廃棄されたのではなく、儀礼の結果であつたり、神への奉納であつたりするのではないかと考えられます。本講座では、当財団の調査で出土した鏡がどのように使用され、なぜそこに残されたのかについて、皆様と一緒に考えてみたいと思います。



①厚木市戸田小柳遺跡出土
双頭龍文鏡



②小田原市高田南原遺跡出土 珠文鏡



③寒川町倉見川端
遺跡出土 乳文鏡



④寒川町倉見川端遺跡
61号住居
銅鏡ほか遺物出土状況

日時

令和2年10月10日[土] 13:00~16:00 [開場12:30]

会場

神奈川県埋蔵文化財センター 3階研修室
〒232-0033 横浜市南区中村町3-191-1

定員

33名(参加費無料)

※応募多数の場合は抽選とさせていただきます

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、参加人数を変更させていただく場合があります

申込

①ホームページ申込みフォーム

当財団ホームページの「催しもの申込みフォーム」より、必要事項を記入のうえ送信

②メール

行事名・住所・電話番号・氏名を明記し、当財団普及アドレスfukyu@kaf.or.jpまで

③往復はがき

行事名・住所・電話番号・氏名を明記し、(公財)かながわ考古学財団「考古学特別研究講座」係まで

※お申込み締切は8月31日(はがきの場合は当日消印有効)

※当落については、お申込みいただいた方のお申込み方法に合わせて通知いたします

報告・スケジュール

13:05~13:25 趣旨説明

13:25~14:00 事例報告1

戸田小柳遺跡 戸羽康一

14:00~14:35 事例報告2

倉見川端遺跡 相良英樹

14:35~14:45 休憩

14:45~15:35 座談会

15:35~15:55 質疑応答・遺物解説



【交通のご案内】

- ・京浜急行
「黄金町駅」徒歩13分
- ・横浜市営地下鉄
「阪東橋駅」徒歩7分
- ・横浜市営バス
「浦舟町」下車徒歩5分

〈お申込の皆様へのお願い〉

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、下記をご確認の上お申し込みいただけますようお願い申し上げます。

- 当日入場時は検温・体調・周囲の感染者の状況についての確認をおこないます。
- マスクのご持参着用をお願いいたします。
- 当日会場では手指消毒やこまめな手洗いの徹底をお願いします。
- 開催時間中は、他の来場者と十分な距離を確保してください。
- ご当選いただいた場合でも、当下記の状態にある場合はご来場をお控えください。

・息苦しさ、強いだるさ、発熱、風邪症状など体調に不安がある

・講座当日を含めて14日以内に海外への渡航歴がある

・新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者として現在経過観察中である

※スタッフはマスク着用にて応接させていただきますので、予めご了承ください。

※新型コロナウイルスの状況によって、開催中止となる場合があります。その場合は開催1週間前までに当財団ホームページでお知らせいたします。ご不明の場合は、電話にてご確認ください。



問合せ／はがき送付先

公益財団法人かながわ考古学財団
「考古学特別研究講座」係

〒232-0033 横浜市南区中村町3-191-1

TEL 045-252-8689 FAX 045-261-8162

写真：①かながわ考古学財団調査報告315「戸田小柳遺跡」2016より

②同199「高田南原遺跡(第II地点)」2006より ③④同318「倉見川端遺跡 第2次調査」2018より転載